

ひょうご多文化共生総合 相談センター【外国人県民IC】

ひょうご多文化共生総合相談センターは、外国人県民の皆さんが、暮らしの中で困ったことや知りたいことを相談できる窓口です。相談窓口は、平日相談の「外国人県民インフォメーションセンター」と、休日に相談できる「NGO神戸外国人救援ネット」の2か所があり、24言語で対応しています。

平日に実施している法律相談と入管相談は予約が必要です（電話相談には対応していません）。

なお、法律相談は住所地所管の県民局の相談窓口へお越しいたき、テレビ電話で弁護士と相談していただくことも可能です。

平日の相談はこちら

電話

来訪

外国人県民インフォメーションセンター

神戸市中央区東川崎町 1-1-3（神戸クリスタルタワー 6F）
TEL 078-382-2052

生活相談	月～金曜日（9:00～17:00）
法律相談	月曜日（13:00～15:00）
入管相談	第3木曜日（13:30～16:30）

※休日：土・日曜日、祝日、年末年始 ※法律相談・入管相談は要予約



外国人県民相談 実務者地域会議を 開催しました！

外国人県民インフォメーションセンターでは、県内各地で外国人からの相談に対応する支援者が相互に学び合い、連携する機会を提供するため、令和6年度より「外国人県民相談実務者地域会議」を開催しています。各地域ごとに、市町及び国際交流団体の相談員、日本語教室の日本語教師、外国人支援団体などが集まって、参加団体の相談事例発表と意見交換、専門家を招いての勉強会を実施。実際に困った相談事例では、こんなふうにするんだというお互いの気づきや、相談対応者としての共感の機会にもなりました。

平日相談では、通信アプリ「LINE」の電話機能を使って相談ができます。「兵庫県国際交流協会」をお友達登録して使ってください。

友達追加は
こちらから



対応言語

- ポルトガル語
- ベトナム語
- 韓国語
- タガログ語
- インドネシア語
- スペイン語
- ネパール語
- ミャンマー語
- クメール語
- マレー語
- モンゴル語
- シンハラ語
- ヒンディー語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- ロシア語
- ウクライナ語
- ウルドゥー語
- ベンガル語

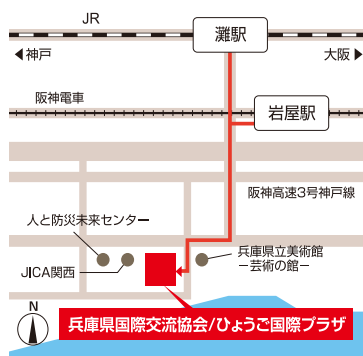
本部

TEL 078-230-3260
FAX 078-230-3280

ひょうご国際プラザ

TEL 078-230-3060
FAX 078-230-3280

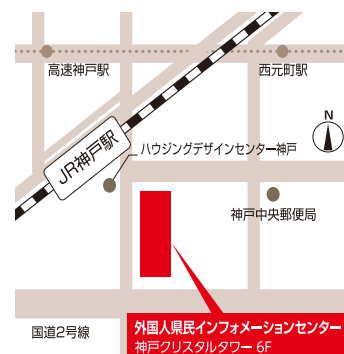
月～金曜日の9:30～17:30
※祝日、年末年始、特別整理期間を除く
〒651-0073 神戸市中央区
脇浜海岸通 1-5-1
国際健康開発センター 2F



外国人県民 インフォメーションセンター （ひょうご多文化共生総合相談センター）

TEL 078-382-2052
FAX 078-382-2012

〒650-0044 神戸市中央区
東川崎町 1-1-3
（神戸クリスタルタワー 6F）



HIA
Hyogo International Association
https://www.hyogo-ip.or.jp



ひょうご国際交流
メールマガジン
日本語配信（登録無料）



FACE
BOOK



ひょうご国際プラザ



All about HIA

公益財団法人

兵庫県国際交流協会

Hyogo International Association



HIA aims to promote international exchange &



ひょうごで
国際交流しよう！



Contribute to developing a multicultural society!

2025

国際性豊かな社会の創造をめざして

1 多文化共生の地域づくり

外国人県民が安全で安心して暮らし、
地域の一員として共に生きる多文化共生を実現するための活動

地域日本語教育の 総合的な 体制づくり

日本語学習を必要とする外国人県民が日常生活に必要な日本語能力を身につけられるよう、兵庫県における日本語教育体制を整備



外国人県民・ 児童生徒の居場所づくり

外国人県民・児童生徒が定期的に集まり、日常生活や緊急時のセーフティネット（安全網）としても機能する「居場所」としての母語教室、学習支援教室等の運営を行うボランティア団体の活動を支援



外国人 コミュニティの 活動支援

外国人コミュニティや支援団体と協働し、身近な場所におけるきめ細やかな生活情報や交流の場を提供



国際交流団体等 ネットワークの構築

各地域の国際交流に携わる団体・グループ間の連携強化を促進するとともに、協働で諸問題に対処する国際交流団体等のネットワーク事業を実施



ひょうご多文化共生 総合相談センター

外国人県民の多様な相談に応じるため、相談員に加え、外部通訳・翻訳アプリを活用して24言語で対応。弁護士による法律相談と入管職員による入管相談も専門相談として実施



災害時の 外国人支援

外国人県民に対する情報伝達方法や避難生活で求められる配慮等について、日頃から考え、災害の備えを進めるため、災害時の外国人支援にかかる各種事業を実施



2 次代を切り拓く国際交流

国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を推進するとともに、
次世代の若者が主体となる新たな交流を創造・育成するための活動

ひょうご国際 ネットワークの強化

兵庫県の友好・姉妹州等から一定期間職員を受け入れて連携を深め、将来に向けた国際ネットワークの強化と交流を促進



オックスブリッジ 英語サマーキャンプ

英国オックスフォード大学とケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、交流イベントや英会話授業を実施



草の根の 国際交流の推進

県民が主体となった多様な草の根の国際交流や多文化共生を推進するとともに、民間が行う国際交流活動の支援を実施



ホームステイ 受入の調整

兵庫の魅力を知ってもらうとともに、県民との相互理解を深めるため、留学生等外国人の一般家庭での受入を調整



ひょうご国際交流 キャラバンプロジェクト

国際交流員（CIR）による各種イベントを県内各地で開催し、県民が異文化に触れる機会を提供



訪日教育旅行の 誘致促進・学校交流支援

海外の青少年と相互理解や友好を深めることで、国際社会に対応する人材育成を支援するとともに、兵庫のファンづくりを実施



国際協力 セミナーの開催

国際問題や国際協力への県民の関心を高めるとともに、新たな交流のきっかけづくりとなるセミナーやフォーラムを開催



HIAが運営・管理している施設

① 海外事務所

世界とのネットワークを強化するため、兵庫県の委託を受けて3か所の県海外事務所を運営

（業務概要）

- 友好・姉妹州等との様々な分野での交流促進
- 県内企業の海外事業展開の支援
- 各種イベントでの兵庫県の地場産品・観光のPR等
- 大学・学校が実施する学術・教育交流の支援



兵庫県では、世界7つの州・省等と友好・姉妹提携を結んでいるほか、14の地域とテーマを定めた国際交流を展開しています。また、県内31市町が68都市と友好・姉妹提携の関係をもっています。

② ひょうご国際プラザ 国際交流を実践するための情報・場所を提供

国際情報センター

新聞・雑誌・和書のほか、外国語図書・日本語教材など15か国語約13,000冊を所蔵（うち児童書・絵本は12か国語約2,000冊）。どなたでも自由に閲覧でき、県内在住の方はおひとり5冊まで2週間貸出可能。



交流ギャラリー

県内の国際交流関係団体やNGOと連携し、広く県民に向けた国際交流・協力に関する写真・絵画などの展示会やセミナー、ワークショップを開催。国際交流員と外国語でおしゃべりし気軽に異文化交流ができるイベント等も開催しています。



多文化共生 の窓 *A Window Into Multiculturalism*

第2期地域日本語教育の 総合的な体制づくり



2019年に、日本語教育の推進に関する国の法律ができました。共生社会の実現に寄与するものとしての日本語教育の実施、そして、国、地方公共団体、事業主、それぞれにその実現に向けた責務があることが明記されています。

兵庫県でも、外国人県民が安心安全に日常生活を送るために必要な日本語能力を、身近な生活圏で身につけられるよう、日本語教育の体制を整備することを目指し、令和元年度より「兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を実施しています。この事業におけるHIAの3つの目標と、その実現のためにやっている主な事業をご紹介します。

01 人と人が出会い、 学び合う場としての日本語教室

外国人、日本人に関係なく、参加者全員が自分らしさを発揮でき、学び合える教室活動を目指しています。その教室活動を支えるため、実践によるノウハウの蓄積や、日本語教育人材の発掘及び育成、教材開発に取り組んでいます。

外国人県民対象日本語講座

県内各地から受講できるオンライン講座と、HIAオリジナルテキスト「できる?できた!!くらしのにほんご」を使用した対面講座を開講。



日本語教育人材の育成

支援者、教室コーディネーター、日本語教師等、地域日本語教育に関わる様々な人材のための研修を実施。



02 全市町にある日本語教室の 活動を持続可能な形に

兵庫県は、41ある市町全てに日本語教室があり、多くの支援者の力で支えられています。災害時のセーフティネットともなる地域日本語教室が安定的、継続的に運営できるよう、それぞれの地域の自治体にも働きかけ、その取組みをサポート。市町・教室間の事例共有の機会創出にも取り組んでいます。

地域日本語教室伴走支援

実践持ち寄り会

各々の教室の成果や課題を発表、参加者は自分の教室に持ち帰り、活動の更なる充実を目指します。



03 日本語教室から目指す 多文化共生のまちづくり

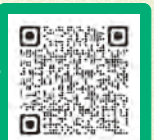
地域日本語教室の活動を通して、外国人住民の社会参画や日本人住民との相互理解の促進に取り組みます。加えて、地域住民への意識啓発の機会を創出し、共生社会に資することを目指します。

地域日本語教育シンポジウム

行政、支援者、日本語教師等関係者が一堂に会して、地域の日本語教育について考えます。

その他、本事業の一環として、県内11(2024年度実績)の市町が兵庫県の間接補助事業を活用し、日本語教室や住民参加型イベントを実施。HIAもその取組みを支えています。

もっと
知りたい方は
こちら



ひょうご国際交流団体連絡協議会

ひょうご国際交流団体連絡協議会では兵庫県における国際交流の充実・発展や多文化共生社会づくりを目指し、各種事業を実施しています。



総会・講演会を開催しました

6月2日(月)、県内42の国際交流団体がHIAに集い、2025年度ひょうご国際交流団体連絡協議会総会および講演会を開催しました。総会では、国際交流活動に尽力された個人・団体に贈られる「草の根国際功労賞」受賞者の表彰式が行われ、今年度は個人4名が受賞されました。

また、講演会では(一社)グローバル人材サポート浜松代表理事の堀 永乃氏にご登壇いただき、地域における技能実習生等外国人労働者を取り巻く環境と支援のありかたについてお話をいただき、意見交換も行われました。技能実習生が日本で習得したスキルを活かして母国で活躍できるよう、帰国後も繋がりが続けることの大切さ等、支援現場の声から学ぶ貴重な機会となりました。



「草の根国際功労賞」受賞者

加藤 啓子様

(特非)宝塚市国際交流協会の創立当初はボランティア会員として、その後14年間は理事長として協会運営に携わり、在住外国人の支援や市民の国際交流・相互理解に貢献されました。

ブイ テイトウ フウエン様

丹波市国際交流協会等での通訳・翻訳業務のほか、職場における同胞への日本語学習支援や生活に関するアドバイス等、地域における外国人コミュニティのキーパーソンとして活躍されています。

久我 綾様・山崎ひろみ様

10年以上の長きにわたり、(公財)加古川市国際交流協会の日本語講座で指導を続け、外国人への日本語学習支援にご尽力いただいています。

やさしい日本語普及講師派遣事業

ひょうご国際交流団体連絡協議会では、各団体が多言語の一つとして「やさしい日本語」を実践的に活用できるよう、講師を派遣しています。2024年度は日本語ボランティアや市町の職員を対象に3団体で講座を開催。やさしい日本語が生まれた背景や変換のポイントについての説明、そして実践的な練習も行われました。各講座の参加者からは「やさしい日本語の正解は一つではなく、出身国や日本語レベルによって対応は違う。大切なのはちょっとした工夫と相手を思いやるやさしい心だがあった」「何気なく使っている言葉が外国人にとってはわかりにくいことに気づいた」といった感想が寄せられました。今後も誰にでも伝わる情報発信を目指し、「やさしい日本語」の実践的な普及を進めていきます。



芦屋市国際交流協会での開催



姫路市文化国際交流財団での開催

TOPICS

災害時の外国人支援

HIAでは災害時の外国人支援にかかる各種事業を実施しています。災害時に必要な情報を得ることが難しい在住外国人を支援するため、多言語でのコミュニケーションツール・防災啓発本の作成・提供や、多言語支援の担い手である通訳・翻訳ボランティアの育成研修を行っています。

外国人とのコミュニケーションツール

子どもと親の防災ガイドブック

在住外国人と外国にルーツをもつ子どもを対象に災害・防災の知識と避難の方法等について学習してもらうため、日本語と各言語(16言語)を併記しています。

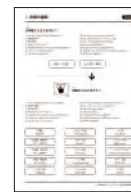


子どもと親の防災ガイドブック(全16言語)



多言語指さしボード

避難所で使う多言語指さしボード。日本語によるコミュニケーションが困難な被災外国人が抱える不安を軽減するため、避難所運営者と被災外国人のそれぞれが指さして使えるようになっています。



多言語指さしボード(全14言語対応)



災害時多言語通訳ボランティア研修を開催しました!

2025年2月1日、災害時通訳・翻訳ボランティアや国際交流団体等スタッフを対象とした研修を実施しました。今回は城陽市国際交流協会 大久保事務局長を講師に迎え、災害時に外国人が困ることや過去の災害での外国人支援の事例をご紹介いただきました。実践編として、避難所を想定した体育館にて多言語指さしボードや翻訳アプリを使って外国人被災者役に「困っていること」等の聞き取りも実施。相手に寄り添いながら、安心を届ける大切さを学びました。



避難所受付の様子



起震車体験も実施

国際交流 の窓

A Window Into
International
Exchange



草の根国際交流・協力NEWS

国際協力入門セミナー



開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際協力の専門家、県内NGOの活動家や青年海外協力隊OB等を講師に招き、国別・テーマ別のフォーラムやセミナーをJICA関西、大学コンソーシアムひょうご神戸、HIA等による連携協定事業の一つとして開催しています。

2024年度は、「世界と繋がる〜いつでも、だれでも、どこでも〜」をテーマに国際協力や国際交流の第一歩を踏み出すきっかけづくりの場を提供しようと、共催団体からそれぞれ講師を派遣し、今の仕事を選んだきっかけや仕事の課題などを話し合う連続セミナーをオンラインと対面により、それぞれ開催しました。このセミナーには、高校生や大学生も多く参加し、若者世代の関心を集めました。



2024年度国際協力入門セミナー(対面)の様子



県立国際高校でドイツに関する授業を視察

独シュレスヴィヒ・ ホルシュタイン州から 州政府職員が来県

～ひょうご国際ネットワーク強化事業～

HIAでは、兵庫県の友好・姉妹州省などから今後の兵庫県との交流を担う自治体職員などを受け入れ、将来に向けた国際ネットワーク強化と交流促進を図るための新たなプログラムを開始しました。

その第1弾として、独シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州政府国際課の職員で、兵庫県との交流窓口を担当するイナ・ブルンスさんを受け入れました。

兵庫県とシュレスヴィヒ・ホルシュタイン州は、1997年に友好提携を締結して以来、経済、教育、文化などの幅広い分野で交流を重ねてきました。2024年10月には、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州首相の訪問団が来県し、兵庫県との一層の協力強化に向けた共同声明が発表されました。訪問団の一員でもあったイナさんは、このプログラムに参加するため2025年2月に再度来県しました。

イナさんは滞在中、県内の交流関係者との意見交換や、県立国際高校での授業視察、兵庫県立大学のドイツからの交換留学生との面談、念願だった姫路城の見学などを行いました。約1週間のプログラムを終え、すっかり兵庫県の大ファンになったイナさんの今後の活躍を期待します。



シュレスヴィヒ・
ホルシュタイン州

ドイツ

民間国際交流事業助成について

HIAは地域のモデル事業となるような国際交流、多文化共生活動に対し助成金を支給しています。若年層を対象としたセミナー等、若者が主体となって取り組む活動も積極的に支援しており、2025年度は、20団体への助成を予定しています。

詳しくは
こちら



訪日教育旅行

小・中学校の交流が 増えています！



HIAが調整を行った2024年度の交流件数は172件、交流に参加した生徒は約1万2千人でした。172件のうち対面での交流は31件。なかでも、各市・町の教育委員会のご支援をいただき、小・中学校の交流が増加しています。

小学校の交流では、児童のみなさんが英語を話すだけでなく、身振り手振りを駆使して自分や日本のことを説明したり、相手の話を興味津々に聞いたりと積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度に頼もしさを感じます。

児童・生徒のみなさんが国際社会の一員として成長する機会として、今後も交流を促進していきます。



台湾嘉義市志航國民小學が
宝塚市立宝塚第一小学校を
訪れました

けん玉、折り紙、あやとり、おはじき、お手玉などを楽しんだあとに、一緒に給食を食べました。



台湾嘉義市嘉北國民小學と
川西市立東谷小学校が
オンラインを活用して
交流しました

日本の文化に触れながら自分の気に入りを紹介したり、台湾の学校生活や流行の発表がありました。お互いに質問が活発に出ました。

みて! よんで!

国際交流員

国際交流員と遊びで世界を体験！

2025年2月2日、洲本市国際交流協会主催の交流イベント「Kids Workshop」にHIAの国際交流員(CIR)3名が参加し、親子で各国の文化や言葉を楽しみながら学べるアクティビティを行いました。中国CIRは中国語版の「だるまさんがころんだ」、韓国CIRは「韓国語でジャンピングゲーム」、そしてアメリカCIRは「ドットペインティング」を実施。今回のアクティビティを通じて、子どもたちが楽しみながら異文化理解を深めることができ、保護者からは「国際的な遊びを体験できて良かった」「親子で一緒に楽しめた」等の声が寄せられました。CIRは県内市町協会のイベントに参加しますので、ぜひ一緒に異文化体験を楽しみましょう！

ひょうご国際キャラバンプロジェクトとは？

ひょうご国際交流団体連絡協議会の構成団体からの要望があれば、兵庫県の国際交流員(CIR)が県内各地で一緒にイベントを行います。多くの県民の皆さんに異文化に触れてもらうことを目的としていますので、市町協会の方へぜひご活用ください。



アメリカのドットペインティング



韓国語でジャンピングゲーム



中国語で「だるまさんがころんだ」



みんなでチーズ！

TOPICS

海外事務所だより

ひょうごフィールドパビリオンを海外でPR

【ワシントン州事務所】

ニューヨークで開催された旅行エージェント向け商談会 Japan Showcase に参加しました。旅行エージェントへのプレゼンでひょうごフィールドパビリオンに登録されているプログラムを紹介したところ、「和菓子や刃物づくりなどの体験型プログラムはとても面白そう」などの反応がありました。



プレゼンに
聞き入る旅行
エージェン

【パリ事務所】

ドイツ・キール市で開催された国際文化イベント「キール・ポートハーバー・サマー2024」に参加しました。来場者には兵庫の酒の試飲や素麺の試食をもらい、あわせて酒蔵ツーリズムや手延べ素麺の工場見学など、ひょうごフィールドパビリオンのプログラムを紹介したところ、ぜひ参加してみたいと大変な好評を得ました。



素麺を
紙コップに
入れて試食

【香港経済交流事務所】

タイ・バンコクで開催された訪日旅行博覧会「FITフェア」に、神戸観光局や姫路観光コンベンションビューローと連携してブースを出展しました。間仕切りのない一体的なブースで、ひょうごフィールドパビリオンや県内の多彩な魅力をワンストップで発信し、来場者からは交通手段や予約方法など具体的な質問もあり、関心の高さがうかがえました。



来場者からの
熱心な相談に対応